

平成 19 年(2007)期間中の栽培管理公開

月	旬	農作業、管理等	病害虫の防除	施肥管理等	
1月	中	青果用甘夏収穫開始	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 甘夏収穫期間 栄養期葉面散布期間 </div>		
2月	上中	産直甘夏出荷開始 甘夏収穫体験開始		農薬無使用期間	施肥(元肥)
3月	上中	青果甘夏出荷開始 萌芽期			葉面散布
4月	上中下	第1回防除 青果甘夏出荷終了	第1回防除、5-5式石灰ボルドー、アピオン (JAS規格で使用が認められた薬剤である。) (本剤の使用は1回のみである。)	施肥(追肥)	
5月	上中下	開花期 第2回防除	第2回防除、マシン油(180~200倍)+ジマンダイセン(800倍) (マシン油はJAS規格で使用が認められた薬剤である。)	葉面散布	
6月	上中下	第3回防除	第3回防除、マシン油(300~400倍)+ジマンダイセン(800倍) (第3回防除は前年被害が顕著だった園のみ使用、基本的には2回の防除に止めた。)	施肥(夏肥)	
7月			<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 園管理期間 成長期葉面散布期間 </div>		
8月		除草作業			
9月		ゼリー用甘夏収穫		農薬無使用期間	施肥(調整肥)
10月		夏芽の除去			葉面散布
11月		夏秋芽の除去			葉面散布
12月		ゼリー用甘夏収穫			
		使用資材全部公開	<p>防除薬剤等 マシン油 5-5式石灰ボルドー、アピオン ジマンダイセンのみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マシン油 5-5式石灰ボルドー、アピオンはJAS規格では農薬使用対象外のもの ・ジマンダイセンは野菜や果樹の殺菌剤として40年以上にわたり一般に使用され続けているパイオニアで、人畜毒性は普通物であって耐性菌を生じた事例がない、ジチオカーバメイト系の糸状菌に有効な殺菌剤 ・アピオンの主成分はパラフィンの被膜展着効果として活用するもの、 <p>肥料資材等 主原材料は(胡麻油粕、鶏骨粉)を酵素酵母等で発酵させた有機肥料。 チャコール(木炭粉末) に培養土着菌を固着したもの 草炭(太古の湖沼に堆積した草葎(よしあし))フミン酸が豊富。</p> <p>葉面散布剤 グミ科の沙棘(アデノシン)他ビタミン、ミネラル等200種の成分を有している。 草炭から抽出したフルボン酸酵素。珊瑚から取り出した水溶性カルシウム他ミネラル。 ミール、昆布等から抽出した海洋エキス3万倍の超低濃度、フルボン酸酵素で吸収力アップ</p> <p>以上の肥料葉面散布資材はすべて天然素材等の自然物です。</p> <p>その他 JAの(みかん美人)を調整肥料の一部として使用、有機肥料に一部化学肥料が混入されているようだが、したがって厳密には100%有機とはならないも殆ど有機に等しい状態といえると思います。</p>		